

しゃくなげ



DENSOKU
No. 483号

発行日 2020年7月15日
発行 株式会社でんそく

全国安全週間を終えて

代表取締役社長 櫻井 賤男

7月に入って日本列島(特に九州)に梅雨前線が停滞し、線状降水帯となって大雨をもたらしました。このような梅雨時の大変厳しい環境下で、7/4(土)当社の安全衛生大会を富山流通会館で開催させていただきました。今回は新型コロナウイルス感染者が零になっていない中で、規模を縮小して実施しました。来賓として関西電力送配電(株)北陸電力本部 北陸電力本部長 齊田 茂様より「関西電力のDX取組とHF対策について」の演題で安全講話をしていただきました。DXを導入する事によって業務の効率化が計られるとの事で、当社の営業部門にとってのテーマがより明確になりました。さらにHF対策として過去の事故事例にもとづいて、安全提言のお話をされました。特に3つの事項が大事です。3H「初め、久しぶり、変更」、3つの安全考動「一手間、一声、一呼吸」、3密「密閉、密集、密接」。さらに3つのもう少し(気を遣って、気を引き締めて、確認して)と3つの気の緩みやすい時期(休憩前、作業終了直前、片付け移動)。安全提言として3つのもう少し、3つの気の緩みやすい時期について齊田様が講演前日に追加されたとの事で大変新鮮に感じられ、齊田様の熱意に感謝申し上げます。自社で何としても実行したいと考えます。(株)でんそくエンジニアリング北陸支店 北陸支店長 高木 信之様から

は、「かんでんエンジニアリングの耐雷強度診断」の演題で講話していただきました。夏場より冬場の雷被害が大きい事や、電気設備機器を雷から守る対策について色々説明していただきました。今年の安全衛生大会のスローガンは「忘れるな！基本ルールが身を守る 高めていかそう安全意識」正にでんそくの現状を踏まえた素晴らしいスローガンです。昨年1年間無事故無災害でしたが、今年も継続できる様社員皆様の協力をお願いします。

6/22 音沢発電所へ安全パトロールに行ってきました。昨年1/26のB4Fからの墜落現場を見てきました。開口部は従来のグレーチング蓋から90ハッチを導入されておりました。導入された関西電力(株)様に感謝申し上げます。と同時に社員の皆様には発電所には他にも多くの開口部があります。これに類する現場での作業時には必ずフルハーネス型墜落制止用器具を着用願います。又、安全週間を終える中で昨年6/18製作した過去の失敗実例集「安全の道しるべ」(ポケットサイズ)を今後も現場へ入場される前に一読をお願いします。

7月に入り暑さのピークがやって来ます。コロナ対策(マスク、3密を避ける)と併せて熱中症対策(こまめな水分補給、睡眠)をして夏場を乗り切りましょう。



(音沢発電所開口部)

2020年度 安全衛生大会

工事部 課長 松木 修



7/4、(株)でんそく安全衛生大会が富山市問屋町の富山流通会館で盛大に開催されました。今年度の安全衛生スローガンは【忘れるな！基本ルールが身を守る 高めていかそう安全意識】でした。大会は櫻井社長の挨拶から始まり、安全の道しるべを活用して安全意識を高めていく事の重要性についてお話しされました。続いて関西電力送配電(株)北陸電力本部 北陸電力本部長 齊田 茂様から「関西電力のDX取組と、HF対策について」の演題で安全講話を頂きました。DXとはなんぞやから始まり、AIを活用した取り組みについてのお話をされました。ドローンによる点検業務の効率化などのAI、IoT デジタル技術を使って新たな未来社会の姿を目指していくとの事でした。HF対策については、重篤災害事例の紹介から始まり、事象の共通要因分析をする事で同災害を繰り返さない為にも、役割分担の明確化、コミュニケーション、基本ルールの再徹底などの必要性についてお話しいただきました。最後のまとめ

として、3つの安全考動「一手間、一声、一呼吸」、3H「初め、久しぶり、変更」、3つのもう少し「もう少し気を遣って、もう少し気を引き締めて、もう少し確認して」の、3つの教訓の重要性について紹介され、教訓を踏まえて、基本ルールで身を守る大切さを実感しました。続いて、(株)でんそくエンジニアリング北陸支店 北陸支店長 高木 信之様から、「かんでんエンジニアリングの耐雷強度診断」の演題で講話を頂きました。雷の原理を知れば、雷害は防げるとの事で、夏と冬の季節別では、違う種類の雷が発生し、冬の方が夏の10倍から100倍の電流が発生し危険性が増すそうです。従来の雷害対策は、避雷装置の導入に頼っていた為に、同じ様な事故が再発していましたが、落雷による被害原因を究明し、雷害対策の明確な目標設定と効果検証を実現できるサービスを確立されたそうです。内容として、CV ケーブル活線診断、累積遮断電流計測装置、高周波パルス式接地抵抗測定などの数々の特許を取得され、お客様のニーズに合った診断を行うことで、雷に打ち勝つ総合サービスを提供されているそうです。有意義な講演ありがとうございました。

フィロソフィリーダー研修会に参加して

製造部 K.N

6月12日、26日、7月10日、の3回にわたって各部署から指名されたメンバーが集合して、江幡先生によるフィロソフィリーダー研修会が行われました。



研修会の目的は、新しく指名されたフィロソフィリーダー達が「でんそくフィロソフィ」の内容をより把握・理解する為に全員が各条項に対する考え方や仕事上で応用しているかを話し合うことです。1回につき6つの条項を江幡先生の進行の元で各リーダーに仕事上どう考えているかを質問され、答えるという難しいものでした。私などは、漠然と理解しているつもりでしたが、実際に言葉にする時は、言いたい事の50%位しか伝えられなかったような気がします。他のリーダー達は、各条項に対して上手く話せているなど感心することもあり、常日頃から色々考えているのかなと感じました。

今年は、新型コロナウイルスの影響でフィロソフィデーの開催が未定ですが、研修会で理解を深めれたと思います。



全企業とWEBで対話！ キャリアフォーラム

6月27日にUターン就職イベント(WEBで対話！キャリアフォーラム)があり、当社として初めてのWeb会議サービスであるZoomを利用したイベントに参加しました。イベントパンフレットには製造部 稲垣さんにご協力いただき、ある日の仕事のスケジュールや休日のスケジュール、メッセージなどが掲載されました。当日は1社20分という持ち時間の中、富山にこんな会社があるんですよと知ってもらいたくて、頑張ってPRしましたが、参加して下さった方に少しでも(株)でんそくに興味を持って抱き、仲間に加わっていただけると嬉しいです！



2020年度 安全標語

《入 選》

- 安全は基本ルールの積み重ね
人に頼るな 任せるな
工事部 Y.T
- 安全はひとりひとりの心がけ
ルールを守ってゼロ災職場
製造部 M.E



財務数値勉強会開催

総務部 Y.M



6月12日から3回にわたり、エバタ経営の江幡先生にご来社いただき、財務数値の勉強会を本社工場3階で行いました。1回目は決算書の見方、2回目は主な財務分析指標、3回目は損益分岐点についての内容でした。決算書の種類から分析方法や目標の立て方、キャッシュフローまで詳しく説明いただき、また、でんそくの決算書を使用して具体的に教えていただきました。一つ印象に残ったものを紹介します。あまり耳にしないもので、「安全余裕率の改善」について、改善する事により現在の売上高のままでも利益を増やす事ができるとの事で、改善するためには損益分岐点を引き下げなければならず、このためには固定費を下げる、付加価値を上げるこのどちらかもしくは両方をする事で安全余裕率の改善をする事ができるという事でした。勉強会の途中の質問や終わってからの質問にも丁寧に答えてくださいました。

一から教わった方、日常業務や学生の頃の復習になる方もよい機会になったのではと思います。今回の勉強会を生かして採算意識を高めていただければと思います。



～編集後記～

6/30に厳罰化されることになった「あおり運転」。あおり運転の怖いところは妨害運転をしている方もされる方も一歩間違えば命に係わる事故につながる可能性があるということです。何をしたら危険であるか自動車免許を取る前に免許センターで車間距離を開ける事や急ブレーキをしないようにと教えてもらったと思います。梅雨もまだ続き、雨が降って視界・道路状態も悪いです。自分本位で危険な運転をすると自分では思っていない相手からあおり運転と思われるか事故につながったりするかもしれないと心に置きながら安全運転を心がけましょう。(Y.M)